

Page 17 - Chapter 1

Sentence 1

也许杜罗夫确实对此有所感触，但他并没有表现出来，只是对大众娱乐报以讽刺的微笑。他沉浸在自己关于成功和权力的想法中。

おそらくドゥーロフもこれに関心があったのだろうが、彼は大衆娯楽に皮肉な笑みを浮かべるだけで、それを見せなかった。彼は成功と権力についての自分自身のアイデアに没頭していた。

Sentence 2

坐在机场附近一个碉堡的屋顶上，他在拿破仑 希尔的陪伴下研读卡斯塔尼达的著作。你是你所想的那样；思考并致富。

飛行場近くのバンカーの屋根に座って、彼はナポレオン・ヒルと一緒にカスタネダを勉強していく。あなたは考えていることそのものだ。考えて、豊かになれ。

Sentence 3

有一次班级在学习奥勃洛莫夫。伊里亚 伊里奇作为俄罗斯灵魂的镜子。讨论开始了。

ある時、クラスでオブロモフを学んでいた。イリヤ・イリイチはロシアの魂の鏡として。ディスカッション。

Sentence 4

大多数人认为主人公善良无害，而施托尔茨则是个相当无情的德国佬，一个机械，斯拉夫大地上的异物。

大多数は、主人公は親切で無害であり、シュトルツは全くの冷血なドイツ人、機械であり、スラブの大地における異物であることに同意した。

Sentence 5

讨论由尼古拉·古斯科夫主持，他是一位以热爱中世纪文学著称的语文老师。

ディスカッションは中世文学を愛することで知られる国語教師ニコライ・グスコフが進行した。

Sentence 6

意大利长大的杜罗夫喜欢古斯科夫专注于鲜为人知的流派 例如普罗旺斯或伦巴第的吟游诗人。

イタリア育ちのドゥーロフは、グスコフがあまり知られていない流派 例えばプロヴァンスやロンバルディアのトルバドゥール に焦点を当てていることが気に入っていた。

Sentence 7

然而，这种好感并没有改变他的固定想法 在所有事情上都做一个反对派，与公认的观点相悖。
しかし、この共感は彼の固定観念を打ち消すものではなかった すべてにおいて逆張り者であり、一般に受け入れられている物の見方に反対するということだ。

Sentence 8

听完关于奥勃洛莫夫温柔灵魂的讨论后，杜罗夫举起了手。古斯科夫让他发言。
オブローモフの優しい魂についての話を聞いた後、ドゥーロフは手を挙げた。グスコフは発言を許可した。

Sentence 9

我认为一部美化懒惰的作品应该从学校课程中删除，杜罗夫说道。全班震惊了，从麻木中醒来。讨论转向了一条不可预测的道路。
怠惰を詩的に美化する作品は学校のカリキュラムから除外すべきだと思いますとドゥーロフは言った。クラスは驚き、硬直から目覚めた。ディスカッションは予測不可能な方向に進んだ。

Sentence 10

懒惰深深埋藏在我们的文化中 工作又不是狼，等等，但从经济、科学和艺术发展的角度来看，人类的懒惰终究是坏事，杜罗夫继续说教道。
怠惰は私たちの文化に深く埋め込まれている 仕事は狼じゃない、など しかし、経済、科学、芸術の発展という観点からすれば、人間の怠惰はやはり悪いことだとドゥーロフは説教を続けた。

Sentence 11

无所事事导致倒退和衰败。因此，对于我们整个国家和文化来说，如果人们能尽量少一些懒惰就更好了。

何もしないことは退行と崩壊につながる。したがって、私たちの国全体、そして文化のためにも、人々ができるだけ怠惰でない方が良いだろう。

Sentence 12

那冈察洛夫做了什么？他美化了懒惰。他用可爱的奥勃洛莫夫让我们同情懒惰。

ゴンチャロフは何をしているのか？彼は怠惰を詩的に美化している。魅力的なオブローモフを通じて、それに同情させる。

Sentence 13

相反，他通过机械的施托尔茨来贬低积极的生活态度。结果，这部小说不可避免地对我们这个奇妙国家的许多人类活动领域产生了负面影响。

積極的な人生態度は、逆に、機械的なシュトルツを通じて信用を落とす。結果として、この小説は我々の素晴らしい國の人間活動の多くの分野に悪影響を及ぼさずにはいられなかった。

Sentence 14

古斯科夫并不惊讶。他习惯了这个辩论者不只是反对所有人，而是寻找论据并加以证明。
グスコフは驚かなかった。彼は、この論客が単に皆に反対しているのではなく、論拠を探し、証明しようとしていることに慣れていた。

Sentence 15

除了冈察洛夫，陀思妥耶夫斯基也遭到了猛烈抨击：我认为他是一个糟糕的作家，因为 接下来是从心理学、情节漏洞、语言冗余等方面论证。

ゴンチャロフの他に、ドストエフスキイもすでに批判の嵐にさらされていた：彼はひどい作家だと思う、なぜなら その後、心理学、プロットの矛盾、言語の過剰さを通じた証明が続いた。

Sentence 16

还有一次，班级差点因为樱桃园打起来。知识分子家庭的孩子们谴责以洛帕欣为代表的商人阶级，用靴子践踏拉涅夫斯卡娅的细腻灵魂，而杜罗夫则大喊洛帕欣是个实干家；地主们自己因懒惰和无能毁掉了果园。

別の時、クラスは桜の園をめぐってほとんど殴り合いになりかけた。知識人の子供たちは、ラネーフスカヤのレースのような魂を長靴で踏みにじったロパーヒンという商人階級を非難したが、ドゥーロフはロパーヒンは行動の人だと叫んだ。地主たちは怠惰と無能で自ら果樹園を台無しにしたのだと。

Sentence 17

他的曾祖父中，一位是贵族和地主，另一位是富裕的农民。两人都被红色寄生虫剥夺了财产。
彼の曾祖父の一人は貴族で地主であり、もう一人は裕福な農民だった。両者とも赤い寄生虫たちに財産を奪われた。

Sentence 18

因此，对那些不劳而获者的厌恶从一开始就流淌在杜罗夫的血液中。
したがって、すべてを手に入れるゴロツキへの嫌悪は、最初からドゥーロフの血に流れている。

Sentence 19

后来，在大学里，他会去辩论俱乐部，那里演讲者的立场由抽签决定，能够为法西斯主义辩护被认为是有幸的。许多人会捍卫个人信念——但那些被认为是犯罪的信念呢？
後に大学で、彼はディベートクラブに行くことになる。そこでは話者の立場はくじで決まり、例えばファシズムを擁護するのは幸運だと考えられていた。多くの人は個人的な信念を守る——しかし、犯罪的とされるものについてはどうか？

Sentence 20

古斯科夫很满意 争论激烈起来，女孩们围攻杜罗夫，证明奥勃洛莫夫虽然软弱，但为人正派、善良等等。

グスコフは満足していた 議論は燃え上がり、女の子たちはドゥーロフに襲いかかり、オブローモフは弱い人間だが、立派で、親切で、などと証明しようとした。

Sentence 21

校长不择手段地吸引像古斯科夫这样的人。梅德尼科夫本人是一位经验丰富的数学老师，孩子们崇拜他，背地里和学校传说中叫他格里兹（源自灰熊）。

校長はグスコフのような人物をあらゆる手段で引きつけた。メドニコフ自身は経験豊富な数学教師で、子供たちは彼を慕い、陰ではグリズ（グリズリーベアから）と呼んでいた。

Sentence 22

他很快就看透了杜罗夫，不给这个学生压力，只是抛出更难的题目。当他成功激发杜罗夫对某个想法的兴趣时，杜罗夫会带回来空前数量的解答。

彼はすぐにドゥーロフについてすべてを理解し、生徒にプレッシャーをかけず、より難しい問題を与えた。アイデアに感染させることができると、ドゥーロフは前代未聞の量の解答を持ち帰った。

Sentence 23

如果不感兴趣，他就表现平平。

興味をそそられないと、平均的な結果を示した。

Sentence 24

梅德尼科夫邀请能给孩子们讲述各种有趣事物的科学家。叶夫根尼·宁堡就是这样来到班级的一位著名的水生生物学家，他吸引孩子们的地方在于他不是纸上谈兵的理论家，而是在白海待上几个月，带着年轻人去考察。宁堡教授种群理论和进化论。

メドニコフは子供たちに様々な興味深いことを話せる科学者を招いた。こうしてエフゲニー・ニンブルグがクラスにやって来た。有名な水生生物学者で、彼が子供たちを魅了したのは机上の理論家ではなく、白海で何ヶ月も過ごし、若者を探検に連れて行ったからだった。ニンブルグは個体群理論と進化論を教えた。

Translator Notes

- Page 17 continues Chapter 1 about Durov's school years and contrarian nature
- Oblomov - 1859 novel by Goncharov about a lazy Russian nobleman
- Stoltz - German character in Oblomov representing activity and capitalism
- Work is not a wolf - Russian proverb meaning work can wait
- The Cherry Orchard - Chekhov play about declining Russian aristocracy
- Lopakhin - character in Cherry Orchard, a self-made businessman
- Red dependents - reference to Bolsheviks who seized property after 1917
- Castaneda - Carlos Castaneda, author of books on shamanism
- Napoleon Hill - American author of Think and Grow Rich
- White Sea - sea in northwest Russia, site of biological research